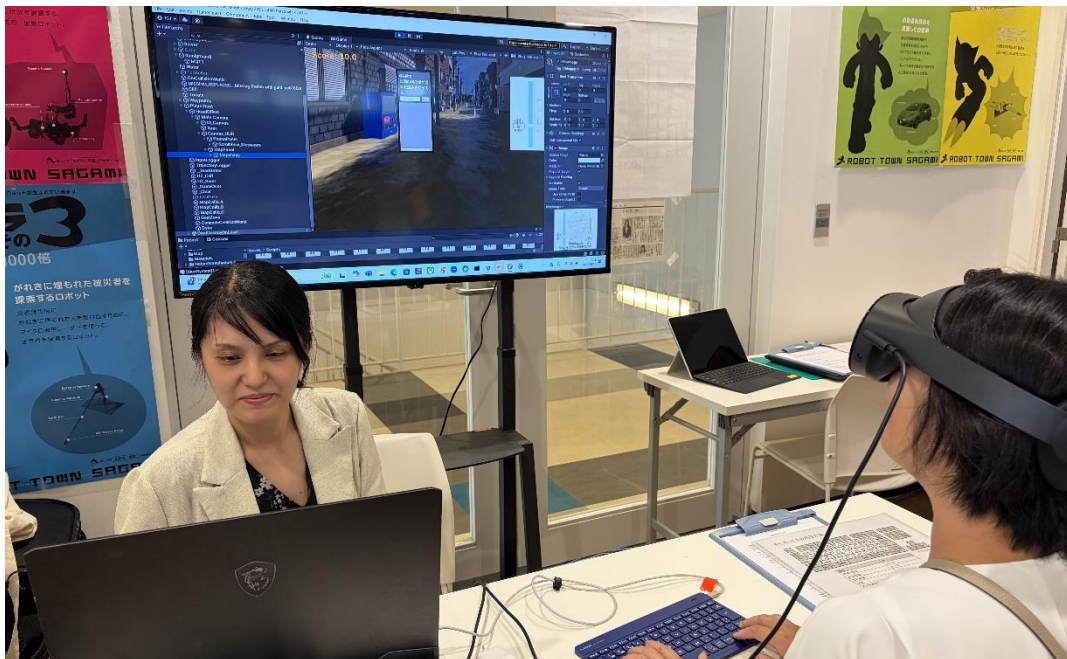


News Release

2025 年 10 月 31 日
NTT 東日本株式会社 神奈川事業部

仮想空間での避難体験イベントを藤沢市で開催しました

NTT 東日本株式会社 神奈川事業部（執行役員 神奈川事業部長：相原 朋子、以下「NTT 東日本」）が参加している「Shonan Future Verse プロジェクト」（湘南地域における未来社会の実現を目指し、先端技術を活用した防災・教育・地域活性化の実証を行う取り組み）は、2025 年 10 月 10 日（金）・11 日（土）に、災害時の情報の見極め方や正しい避難行動の重要性を学ぶ目的で、藤沢市民及び近隣にお住まいの方等を対象に避難体験イベントを開催いたしました。



1. 背景・目的

NTT 東日本は、学校法人慶應義塾、国立大学法人京都大学、国立大学法人東京大学、株式会社アイ・トランスポート・ラボ、カディンチェ株式会社、株式会社ゼンリンデータコムと連携し、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の「革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業」に係る令和 6 年度「要素 技術・シーズ創出型プログラム 経過措置課題」として、「Shonan Future Verse：仮想都市未来像にもとづく超解像度バックキャスト CPS 基盤」の研究開発に取り組んでいます。＜*1＞

本プロジェクトでは、神奈川県南部の湘南地域を実証フィールドに、環境や防災等の課題に対応するための未来都市情報基盤を開発しています。多様な人々が仮想空間で描く“未来都市”のイメージを起点に、現実の都市づくりに反映するサイバーフィジカルシステム（CPS）を構築しています。さらに Beyond 5G（6G）の高速・高精度な通信技術を活用することで、都市や人に関する情報をリアルタイムかつ高精度に配信し、必要に応じて現実世界の機器や仕組みにまで働きかける、次世代型の都市情報システムの実現をめざしています。

この取り組みの一環として開催された本イベントでは、豪雨災害時の避難行動を仮想空間で体験することで、市民の防災意識向上と情報リテラシーの強化を図りました。

*1・・・採択番号 08201 研究開発概要

https://www.nict.go.jp/collabo/commission/B5Gsokushin/B5G_08201.html

2. 開催概要

(1) 日時：2025 年 10 月 10 日（金）13:00～17:00

2025 年 10 月 11 日（土）10:00～17:00

(2) 場所：ロボテラス（神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-1 アイクロス湘南 3 階）

(3) 対象・定員：12 歳以上/藤沢市民の方または近隣にお住まいの方等

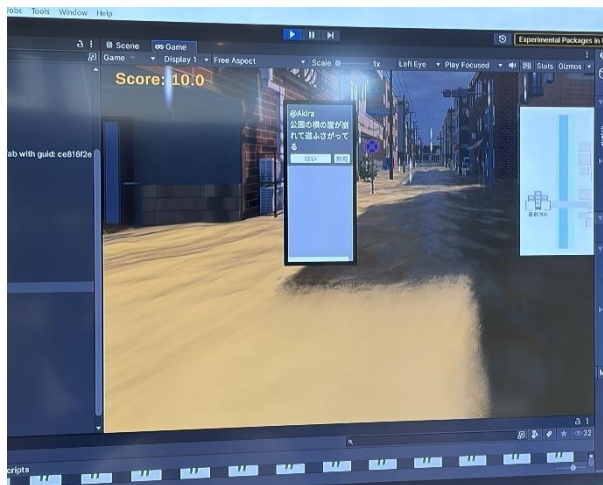
(4) 目的：体験を通じた災害時の情報の見極め方や正しい避難行動の重要性を学ぶ。

(5) 内容：

・過去の藤沢市内での災害状況をもとに作成された仮想空間内で、藤沢市に豪雨が襲来したという想定のもと、自宅から避難所まで避難する体験を、VR 機器を用いて仮想空間内で実施。



・避難の途中で、市からの正確な防災情報や SNS 上のフェイクニュースが発信され、情報を見極めながら、最短で安全な避難ルートを選び、制限時間内での避難をめざした。



(6) 主催：Shonan Future Verse プロジェクト

(7) 協力：藤沢市、(公財) 湘南産業振興財団

3. 参加者のコメント

- ・普段から大雨などの時は避難に関する情報を母親同士で SNS 等にて相談することがある
- ・川沿いに住んでいるので崖崩れしやすい場所や水路が近い場所は避難経路から外そうと思った
- ・実際に自分の住んでいる地域の避難経路を改めて確認しようと思った
- ・公式サイト等、自治体からの正確な情報を信頼しようと思った

4. Shonan Future Verse プロジェクトメンバーのコメント

＜国立大学法人京都大学 防災研究所 附属巨大災害研究センター 廣井准教授＞

参加者の皆さんの防災への関心と知識の高さには驚かされました。一方で、フェイクニュースや身近な危険箇所など、普段は注意していても見落としてしまうこともあります。今後もそうした気づきを共有しながら、防災意識を高める取り組みを続けていきたいと思います。

＜藤沢市＞

災害時にどのような偽情報に惑わされるのか、またどのような避難行動を取るのかについての参考になりました。このようなシミュレーションの精度が上がることにより、災害時の行動を予測し、事前または瞬時に適切な案内を導き出せるようになることを期待しています。

＜NTT 東日本 ビジネスイノベーション本部 公共 SE 部 中央省庁部門 橋詰さん＞

参加者の皆様は防災に関する高い知識をお持ちで、体験を通じて日頃の行動や意識している点について、非常に多くの貴重なご意見を頂戴しました。これらのご意見は、関係団体と連携し、今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。

5. 本件に関する報道機関からの問い合わせ先

NTT 東日本 神奈川事業部 企画総務部 企画部門 広報担当

TEL : 045-226-6123 E-mail : kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp

※本取り組みは、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT（エヌアイシーティー））の委託（JPJ012368C08201）により活動しているプロジェクトです。